

| | |
|---------|---------------------------------|
| 建築物名称 | (仮称)丸富コンバーティング新工場建設工事 |
| 受付日 | 平成30年5月31日 |
| 建物所在地 | 富士市今泉2丁目81-1 他23筆 |
| 構造規模等 | 鉄骨造／地上3階／延床面積16,332.21平方メートル／新築 |
| 建物用途区分 | 工場 |
| 建築主 | 丸富コンバーティング株式会社 代表取締役社長 佐野武男 |
| 設計者 | 株式会社石井組一級建築士事務所 埜村光伸 |
| 工事完了予定日 | 平成31年1月26日 |

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称)丸富製紙コンパレーティング新工場 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 静岡県富士市今泉2丁目81-1 他2 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業地域 | 平均居住人員 | 20 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2018年12月 予定 | 評価の実施日 | 2018年5月18日 |
| 敷地面積 | 15,308 m ² | 作成者 | 埜村光伸 |
| 建築面積 | 7,424 m ² | 確認日 | 2018年5月25日 |
| 延床面積 | 16,332 m ² | 確認者 | 埜村光伸 |



| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|---|--|----------------------|
| <p>BEE = 0.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> | <p>標準計算</p> <p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | |
|--------------------------------------|---|--|
| Q 環境品質 | | |
| Q のスコア = 2.5 | | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 0.0</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.2</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 1.9</p> |
| LR 環境負荷低減性 | | |
| LR のスコア = 3.4 | | |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.2</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.4</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.2</p> |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|---|---|
| 総合 | 可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。 | その他 特に無し |
| Q1 室内環境 | 特に無し | Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑地づくりに配慮した。 |
| LR1 エネルギー | LED照明等高効率設備を使用することにより、省エネ化を積極的に図っている。 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量の削減により、地球温暖化に配慮している。 |
| Q2 サービス性能 | 階高を高く設定していることにより利用者にとって広く感じる空間作りを行っている。 | |
| LR2 資源・マテリアル | 特に無し | |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

| | | | | | | |
|------|--------------------------|-----|-----|--------|----|----|
| 建物名称 | (仮称)丸富製紙コンパレーティング新工場建設工事 | BEE | 0.9 | BEEランク | B- | ★★ |
|------|--------------------------|-----|-----|--------|----|----|

2. 重点項目への取組み度

| 重点項目 | 得点 [*] /満点 | 取組み度 | 評価 |
|---|---------------------|------|--------|
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming) | 2.9 | /5 | がんばんろう |
| "災害に強いしずおか"の形成 (Disaster) | 2.7 | /5 | がんばんろう |
| "しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design) | 3.0 | /5 | ふつう |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature) | 2.5 | /5 | がんばんろう |

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

| | | | |
|-------|----------------|-----------------|--------------------|
| 評価 凡例 | よい 4 点以上 | ふつう 3 点以上 | がんばんろう 3 点未満 |
|-------|----------------|-----------------|--------------------|

3. 重点項目についての環境配慮概要

| 各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 | 内訳対応項目 | |
|---|--|--|
| | 得点 | |
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming) | 2.9 | |
| ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④更新必要間隔長い給水、排水管等の採用。 | Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ | ① 外皮性能 ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 |
| ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数20%以上(49.49%)の確保。 | Q-3 1 3 3.2 | ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 |
| ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用。 | LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 | ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 |
| ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) | LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ | ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 |
| ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮隣棟間隔指標を0.5以上(0.56)とした。 | LR-3 1 2 2.2 | ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善 |
| "災害に強いしずおか"の形成(Disaster) | 2.7 | |
| ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) | Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰ | ⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備 |
| "しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) | 3.0 | |
| ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高を6.95m以上とした。 | Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ | ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ |
| ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) | Q-3 3 3.1 | ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上 |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature) | 2.5 | |
| ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) ⑳外構緑地指数20%以上(49.49%)を確保した。 | Q-3 1 2 3 3.2 | ⑳ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ・景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上 |
| ■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善) ㉔隣棟間隔指標を0.5以上(0.56)とした。 | LR-3 2 2.2 | ㉔ 温熱環境悪化の改善 |